

「安心」をキーワードに、 世界の人々の快適で心豊かな生活の実現に 貢献してまいります。



「沖電気は進取の精神をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。」——私たちの企業理念は、沖電気の創業者である沖牙太郎以来、120年以上にわたって連続と受け継がれる「進取の精神」に根ざしています。

沖電気グループは、この企業理念を具現化するために、企業ビジョン「ネットワークソリューションの沖電気」を掲げております。そして、「e社会」における「安心」を実現するための各種ソリューションの提供により、グローバルに認知される優良成長企業をめざしております。また、グローバル企業として持続的に成長していくなかで、社会に果たすべき責任もさらに大きくなるという認識のもと、「経営の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの明確化」「コンプライアンスの徹底」を経営の重要テーマと位置づけ、執行役員制度や社外取締役制度、各種諮問委員会の導入など、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでおります。2004年度にはチーフ・コンプライアンス・オフィサー（CCO）の任命、コンプライアンス委員会などの設置に続いて10月にCSR推進部を新設し、沖電気グループをあげて企業の社会的責任（CSR）に取り組む体制を整えました。

企業活動に伴って社会に対する責任が発生するという考え方は、決して新しいものではありません。沖電気グループも企業理念に基づき、情報社会の発展に寄与する商品の提供、環境保全活動、企業市民としての社会貢献活動などに長年にわたり取り組んでまいりました。しかし、経済のグローバル化や情報化の進展などに伴い、企業が社会に及ぼす影響はかつてなく大きなものとなっています。安定した収益をあげて利益を社会に還元するという企業としての第一義的な責任を果たすことは言うに及ばず、「経済」「環境」「社会」という

多面的かつグローバルな視点、そしてさまざまなステークホルダーの立場から、沖電気グループが果たすべき責任の範囲や内容を捉え直すことが必要になってきていると考えます。

このような考えに基づき、当社は2005年度、沖電気グループの企業活動と社会的責任のあり方を整理し、グループをあげてグローバルにCSRに取り組んでいくための企業行動原則として「沖電気グループ企業行動憲章」を制定しました。

前文に掲げたく常にお客様に「安心」をお届けし、株主や投資家、社員、お取引先、地域社会など、すべてのステークホルダーの皆様の信頼を得ることが、企業価値向上の基盤であると認識しています。健全な企業活動を展開し、世界の人々の快適で心豊かな生活の実現に貢献していきます。という姿勢は、企業理念、企業ビジョンが示す沖電気グループのめざす姿そのものでもあります。

今回、初めての「社会的責任レポート」を発行するにあたり、ステークホルダーの皆様に沖電気グループのCSR活動の現在位置とめざす方向をご理解いただくために、これまでの取り組みを企業行動憲章の項目ごとにまとめることとしました。これからの活動と並行して解決すべきこと、さらに詳しく検討すべきことも多くあります。また情報の収集が決して十分とはいえない部分もありますが、今回の発行をスタートラインとして、ステークホルダーの皆様に「安心」をお約束するCSR活動を、着実かつ誠実に進めていく所存です。

本レポートを一人でも多くの皆様にご覧いただき、沖電気グループのCSR活動に対する忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

沖電気工業株式会社 取締役社長兼CEO

蔭塚勝正

企業理念

沖電気は進取の精神をもって、
情報社会の発展に寄与する商品を提供し、
世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。

企業ビジョン

ネットワークソリューションの沖電気
「ネットワークソリューションの沖電気」として
「e社会®」に貢献し、グローバルに認知される
優良成長企業を目指します。



沖電気グループが目指す「e社会®」

グローバルに張り巡らされたネットワークを基盤として、
時間と空間の制約、国・地域や文化の違いを超え、あらゆる社会活動が「個」を中心に公平で安全、確実に行われる社会を、沖電気グループは「e社会」と呼んでいます。